



グアム大学との数理科学に関するグローバルPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年02月23日 ～2020年03月02日	アメリカ	グアム大学	・数理科学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生11名、TA2名、教員2名 (グアム大学) 学生20名、教員2名	福田 亜希子(数理科学科)、清水 健一(数理科学科)



図1 教育学部長との集合写真

本グローバルPBLプログラムはシステム理工学部数理科学科主催であり、グアム大学(UoG: University of Guam)数学・コンピュータサイエンス学科およびUoG Engineering, Mathematics & Computer Science Clubの学生の協力のもと行なわれた。数理科学科の学部生11名が参加した。グアム大学のDr. Grazyna Badouskiから確率統計から多変量解析、統計学に関する講義が行われた。午前中に2時間程度の講義、午後PC教室に移動し、講義の内容について、SPSSというソフトを用いて、シミュレーションや実データを用いた分析などを行った。UoG学生との混成グループを作り、講義に基づき、グアム島で得られた実データの解析を行い、その結果のプレゼンテーションを行った。本gPBLと並行してSIT-UoG joint workshopも行われており、参加学生はワークショップでのレクチャーも併せて聴講した。アクティビティとしては、グアム大学のキャンパスツアーやサークル対抗のドッジボール大会やE-Sports大会に参加し、普段の大学の雰囲気を知ることができた。週末にはハイキングとビーチでのバーベキューが企画されており学生や教員間で交流できる良い機会となった。



図2 グループワーク



図3 プレゼンテーション



図4 集合写真



図5 集合写真



図6 アクティビティ(ハイキング)